

Open Talks!

(株)オーティーエス が贈る ファッション・アパレル物流通信 Vol. 16

4 月 号

2011年4月1日

お客様各位

いまだ被害の全容も明らかになってはおりませんが、今回の東日本大震災によって犠牲になられた方々のご冥福を祈らせていただくとともに、震災に見舞われ今なお休まらない日々を過ごされている方々に心よりお見舞い申し上げます。

そして、一日も早い復興と皆様の安全並びにご健康を心からお祈り申し上げます。

震災から3週間が経過し、当社のある都内近郊でも通常のペースを徐々に取り戻し始めています。当社のスタッフは余震と計画停電の影響に多少翻弄されながらも、できる限りの日常業務を行いながら、ファッション業界のインフラでもある物流機能を停滞させないように日々業務に当たっております。ただ、一部のお客様の商品や備品什器などに若干の破損が発生しており、心からお詫び申し上げますと共に再発防止策を含めた防災対策を見直し実行してまいります。

激甚被災地以外では徐々に復旧してお店も営業を再開しているところもあると伺っていますが、日本全体の経済が停滞する2次的災害を避けるためにも、被災地以外の私たちが仕事はもちろん、日常の生活や消費活動を継続することが大切だと考えております。被災地の方々のために節電、寄付、消費など私たちにできることを行いつつ、お客様の物流業務を通じてファッション業界の発展と日本経済の復興に貢献していき、一日も早くたくさんの笑顔を取り戻していきたいと願っております。

株式会社オーティーエス
代表取締役社長 田中優一郎

編集後記

ご意見・ご要望・ご質問等は右記連絡先へ！

TEL 03-5605-5515

URL:<http://www.e-ots.jp>

最近街の明かりがすごく暗いと感じます。お店なども開いているのか閉まっているのかわからない時も。。24時間営業のお店ですら閉店している場合も!? この状態が続けば、夏の大規模停電を避けることができるのでしょうか。。。今からそんな心配をしながら、節電対策にて今日も暖房をつけずに上着を着て仕事を頑張ります。 北野

編集担当:北野、荒井、堀田、遊佐
篠塚、片桐、松本、笠井、武藤、
齋藤、嶋村、小嶋、阿部、鋤持
北野

お伝えします、震災～現在の状況

1. OTSの被害状況について

建物については、大きな被害ありませんでした。ただ、一部のセンターで壁に亀裂など破損している箇所が発生しています。また、浦安市の液化化現象などの報道もございますが、川を挟んで接している臨海・葛西地区は、既に江戸～明治期に成立した陸地であり、地盤は安定しており、**土壌も問題ありません。水道・電気などのライフラインについても影響はございませんでした。**そして、社員、パディさん共にけが人は1人もいませんでした。什器についても、一部の棚・オリコンなどが倒れる等で混乱はありましたが、既にセンター内では環境を整備し、震災以前の環境に極力戻した状態で、通常業務を行っています。

2. 現在の運送便の状況について

現在、甚大な被害に遭った東北地域についての配送は、輸送可能地域が拡大しつつあります。佐川急便、ヤマト運輸などは既に東北3県に営業所止めに集荷・配達サービスを始めております。納品代行様においても、百貨店様の営業時間の変更などに伴い、集荷・配達時間が未定ですが、正常化に向かっております。ただ、荷物の集荷時間については、15時までなど、一部制約のある状況です。

このような状況の中で、お客様には出荷のご指示を、早めに頂戴するなど、ご協力を頂きまして大変感謝いたしております。運送便の状況につきまして、随時最新の情報を共有すべくご連絡させて頂く所存でございますので、今しばらくのご協力をお願い申し上げます。

3. 震災後の取組みについて

OTS従業員義援金募金箱

各センターに募金箱を設置し、義援金を募集開始しております。

親睦会義援金

毎月の給与から徴収している親睦会費からも4月に予定していた花見を中止し、その費用を義援金として送ることにしました。

防災委員会発足

社長を中心として防災時における体制や行動指針などを取決める委員会を発足致しました。



4. 「計画停電」の影響について

計画停電については、江戸川区内では実施されていないため**直接的な影響はございません。**一部計画停電地域から出勤してくる従業員もいるため、極力残業をしないような体制で業務を続けております。

計画停電の影響で当初は、電車の運休などにより出勤困難者がおりましたが、現在は大きな混乱もなく、平常通りに出社しております。しかし、帰宅時には信号や街頭も消えて真っ暗闇の中を帰宅する日もあります。計画停電地域にお住まいの方は大変だと思われるかもしれませんが、被災地の方に比べれば。。。という思いを社員全員感じていると思います。

今こそ、日本がひとつになる時ですよね！今私達がやれる身近なことを、まずは節電から。